

Q 6 橋の形式は何と云うの

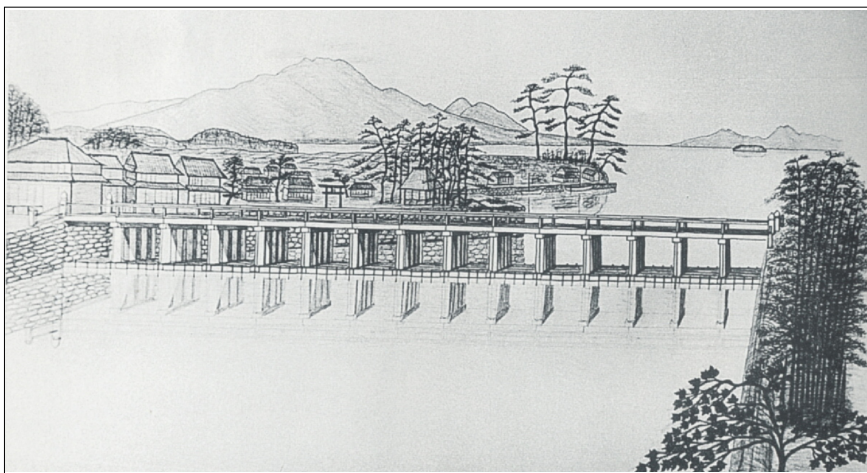
祇園橋は、難しく言うと「桁梁^{こうりょう}円弧型多脚柱付大石橋」というそうです。つまり、桁梁式で円弧型をしており、桁梁を多くの柱で支えている石橋ということになります。桁梁・・・は難しいので、多脚型アーチ式石橋とも呼ばれています。

この形式の橋は世界的にも全国的にも珍しいもので、その数が少ない橋型である故に価値が高いともいえましょう。

鶴田文史氏の他国現地調査によると、西洋には無く、東洋（中国・韓国・ヴェトナム等）には多数あるということです。祇園橋はこの形式の橋としては日本一長い橋です。中国の橋と比べると、小型ですが、優美さでは勝っています。韓国ソウルには同型の橋がありますが、円弧型では、祇園橋が勝っています。したがって、祇園橋は、世界一と言っても過言ではないと、鶴田氏は言います。

天草には、この祇園橋より長い、同一形式の橋がありました。亀場町の亀川に架けられていた「明亀橋」です。長さは41mもあつたそうです。ただし架橋年は祇園橋よりずっと後で、明治19年のことです。そして、昭和11年に解体されたそうです。

何で解体されたのでしょうか。壊れたのでしょうか。また、写真も残っていないいそうで残念です。



まぼろしの明亀橋 鶴田文史 画
「国重文の祇園橋」より

Q7 構造をもっと詳しく知りたい

祇園橋の石材は、下浦（下浦村）で産出する砂岩、いわゆる下浦石を使用しています。

固い岩盤の上に、一列5本の柱を建て、その上に梁を乗せ、その梁の上に桁を乗せる、つまり桁梁式です。

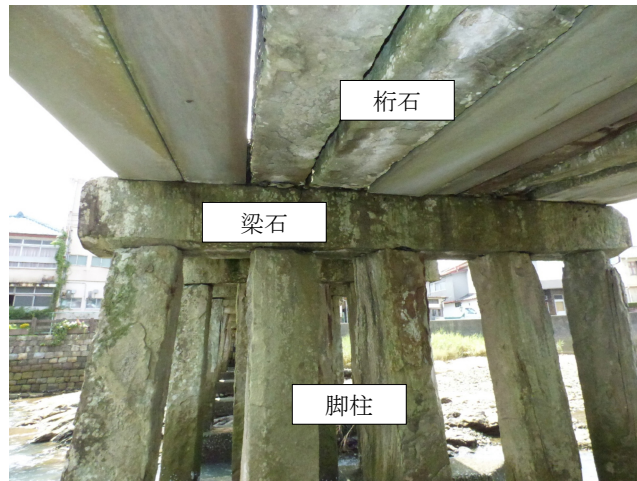
柱の数は、一列5本、9列ありますから、計45本の柱が使われています。

桁梁式と言うと、難しいですが、木造家屋の作りと同じ形式というところから易いと思います。

したがって、梁石は9本、桁石は1列10本の10列、なんと100本も使われています。眼鏡橋は一個一個の石が比較的小さいですが、桁梁橋の石は大きいので、運搬や組み立てが大変だったと思います。

そして、橋の上部には欄干が取り付けられています。

桁とか、梁とかは建築専門用語なので難しいですが、現地を訪れることができる人は、ただ眺めるのではなく、構造的にも見て貰えたらと思います。



川幅は、27m。
橋の長さ28.6m。
橋横幅約3.3m。
円弧型の一番高いところと低いところは、約1m。
桁石の天上石、約30センチ角、約2.8m。
天上石（桁石）、10本×10連=100本。
梁石（桁の支石）、3.5mのが9本。
柱と柱の間隔、約2.5m。
脚石、約30cm角の柱が一列に5本、9列、45本。
長さは1.5mから2.7m